



子育てチャネル

予防接種で地域と子どもを守ろう

寒い季節になってきました。冬は、インフルエンザや胃腸炎が流行する時期です。今年はコロナウイルスとインフルエンザにダブル感染しかねず、重症化する恐れがあります。今回は、新型コロナに限らない感染予防対策の大切さと、インフルエンザの予防接種についてお話します。

今年のは年の始めから世界中がコロナウイルスに振り回され、東川町でも学校、幼児センター、子育て支援センターも休校、休園を余儀なくされました。

幼児センターでは4月の入園式はできたものの、その後は5月末まで短時間型の子どもたちは休園、長時間型の子どもたちもできる限りお休みをしていただくようお願いしており、全幼児

が登園できるようになったのは6月1日でした。運動会やお祭りのおみこしかつぎなどの行事も中止や変更になり、子どもたちや保護者の方々もがっかりしたことでしょう。生活をコロナウイルスのために変えなければならなくなり自由を感じることが多いと思いま



す。

幼児センターでは2月からアルコール消毒液を設置し、手すりやスイッチなどの多くの人が触れるところや子どもたちが遊ぶ玩具等の消毒、子どもたちへの手洗い指導など、試行錯誤しながら行ってきました。また、保

護者の方々がとても気を付けてくださり、おうちでの手洗いの徹底、手指消毒、マスクの着用はもちろん、規則正しい生活と遠出を控えるなどの対策をとってくださっているためか、今年度は子どもたちが夏季によくかかるアデノウイルス、ヘルパンギーナ、胃腸炎などの感染症が例年の3分の1程度になっています。そして、体調を崩してお休みする子どもも大変少なくなっているのです。

手洗いや手指消毒、マスクの着用、規則正しい生活を送ることでこれほど病気にかかるのを防ぐことができることを実感し、保護者の方々の努力は本当に素晴らしいと思いました。

集団免疫—予防接種で地域を守る

ここで一つとても大事なことをお話します。予防接種には集団免疫という考え方があり、感染症に対する地域全体の抵抗力のことをいいます。集団免疫が高ければ感染の広がりが小さくなり、地域全体を守ることにになります。では、集団免疫を高めるにはどうすればよいのでしょうか？そのためには、ひとりひとりが抗体を持つことが重要です。抗体は感



染症にかかるとか予防接種を受けることで獲得できます。もちろん予防接種を受けることで副反応を起こすこともありませんが、感染症にかかって重症化するよりはリスクがとて低いです。

毎年、幼児センターではインフルエンザの予防接種を受けていただくようお願いしているところですが、今年「身体に自信がありいつもは受けない」という方も自分のため、家族のため、そして地域全体のために、ぜひ受けていただくようお願いいたします。

そうすることで地域全体が守られ、ひいては子どもたちを守ることにつながると思います。

幼児センター看護師

菊地明香

●町立診療所のインフルエンザ予防接種（東川町民限定）

- ▶ 1歳～18歳、65歳以上は無料
- ▶ 19歳～64歳は500円

※予約は不要です。住所のわかる身分証明書をお持ちのうえ、マスク着用でお越しください。

染症にかかるとか予防接種を受けることで獲得できます。もちろん予防接種を受けることで副反応を起こすこともありませんが、感染症にかかって重症化するよりはリスクがとて低